



島人の歓び(島祭り) 佐渡の魅力満載の巨大木版画 ~佐渡版画村美術館~

佐渡版画村美術館に、縦352cm、横667cmの巨大木版画が展示され、注目を集めています。この作品は、佐渡版画村美術館の25周年事業として企画されたもので、昨年12月から版画村会員や市民ボランティアなど多くの方が制作作業を行い、約2か月半をかけて完成しました。畳14枚分にもなる大画面に、佐渡金山のシンボル「道遊の割戸」や、大空を羽ばたくトキ、伝統芸能の鬼太鼓や能舞台、コブダイやカンゾウなど、佐渡の魅力が表現されています。

佐渡が誇る版画の文化を、ぜひご覧ください！

佐渡版画村美術館

佐渡市相川米屋町38-2

☎0259-74-3931

開館期間／3月1日～11月30日(無休)

営業時間／9:00～17:00

(最終入館16:30)

入館料／大人 400円

小・中・高 200円

主な内容

平成23年度 主な事業……………	2～5	当初予算 一般会計は464億円 ……	6～7
佐渡市新たな体制 ……………	8～9	佐渡を「世界ジオパークに」 ……	10～11
東北地方太平洋沖地震 義援金を受け付けています ……	12	2次募集 住宅リフォームを支援 ……	13

# 平成23年度

# 主な事業

今年度は合併をして8年目を迎えます。これまで、人員削減や公共施設の統廃合、民営化を進め、行財政のスリム化を図ってきました。引き続き、市民の皆さんにご理解いただきながら佐渡市将来ビジョンに沿って、徹底した行財政改革を進め、次世代が安心して住める、魅力あるまちづくりに全力で取り組みます。

また、佐渡には、豊かな自然、薫り高い文化や歴史、芸能などが数多くあります。これらに焦点を当て、保護・活用しながら国内はもとより世界に情報を発信し続けることで佐渡全体のブランド力を高め、農林水産業や観光産業をはじめとするあらゆる産業に経済波及する事業に取り組み、「活気あふれる新しい島づくり」の実現を目指していきます。

次世代が安心して住める  
魅力あるまちづくり

## 1 農林水産業の振興

### ●新潟大学寄附講座設置寄附金

2800万円

新潟大学に寄附講座を設置し、環境と経済が両立する仕組みを創ります。環境に配慮した農業を科学的に証明し、農林水産物の付加価値を高めるとともに、大学の研究拠点を市内へ設置することを目指します。

(寄附講座とは、大学が市からの寄附金で、市が求める研究を大学にしてもらうもの。)



佐渡市と新潟大学は、平成20年に包括連携協定を締結。握手を交わす新潟大学・下條学長(左)と高野市長。

### ●環境保全型農業直接支払制度

4400万円

生物多様性農業に取り組む農家に対し、平成23年度から実施される「環境保全型農業直接支援対策」により助成を行います。

(生物多様性とは、多くの生きものが互いに関係を持ちながら生きている状態のこと。)



●佐渡版所得補償制度

4480万円

生きものを育む農法等に取り組み農家を対象とし、江や魚道の設置などの取組みに応じて助成を行います。



ふゆみずたんぼ(上)、  
江の設置(右下)、  
魚道の設置(左下)



●地産地消推進事業

1649万円

佐渡産品の購入を拡大するため、地元産食材等にポイントシールを貼り付け、その商品を購入して集めたシールを、ごみ袋に交換できる実証実験を始めます。

また、地元で獲れた農林水産物を取り扱う飲食店や旅館等を地産地消推奨店として認証し、地場産の消費拡大を図ります。

●漁業収益向上支援事業

245万円

ブリ、南蛮エビ、マグロ、イカ、アジなどの流通経路と価格の調査を行い、魚価向上を目指します。また、市場出荷以外の販路を開拓し、漁業者の所得向上を図る漁協の取組みを支援します。



佐渡産を豊富に使う「佐渡天然ブリカツ丼」

●地場産品販売促進事業

2982万円

平成22年度に設置した市内・首都圏アンテナショップの魅力アップを図り、地産地消の推進と、島外への販売の促進を行います。



アンテナショップ「佐渡特選市場」(新穂大野)

●「島の応援団」推進事業

808万円

「産業振興」と「人口の拡大」を図るため、市と意欲ある企業等が連携して、解決策の企画・実証に取り組みます。

また、これまでの成功事例を広め、地場産業、地域経済などの活性化を促進します。



2 観光等交流人口の拡大

●佐渡トレッキング協議会負担金

312万円

原生林を始めとするトレッキング(山歩き)の安全性や満足度の向上につなげるため、協議会の活動を充実させます。

●世界遺産文化財指定事業

1億564万円

世界遺産登録にむけて、金銀山遺跡や鉱山町の調査を行い、国文化財指定の拡大を目指します。



北沢浮遊選鉱場



道遊の割戸

●ジオパーク推進事業

1815万円

世界ジオパークとして佐渡が認定されるよう調査・研究に取り組み、ガイドの養成やジオパーク学習を推進します。

(ジオパークの詳細は10ページをご覧ください。)

●両津港埠頭地区開発事業

2億7400万円

両津港に佐渡観光のシンボルとなる建物を建設し、観光情報の発信基地として、観光客の滞留を促し、市民交流の場としても活用します。



北埠頭のイメージ

●テレビ番組佐渡PR事業

100万円

人気テレビ番組が佐渡国際トライア

スロン大会に参加することをチャンスと捉え、佐渡の魅力を大きく発信します。



●陸上競技場整備事業

8億2042万円

全天候型第3種公認陸上競技場を整備し、世界に通用する競技者を育成するとともに、各種大会、合宿、イベントの誘致を行い、交流人口の拡大を図ります。(真野地区)

●総合体育館建設事業

2億3321万円

スポーツ活動の拠点となる総合体育館の建設に着手し、スポーツ振興と施設を利用する大規模な大会等の誘致を行うことで、地域活性化を図ります。(佐和田地区)

●国際交流基盤整備事業

451万円

外国人旅行者への対応として、国際交流員の派遣を受け、観光客の誘致戦略や受入れ体制を強化します。また、市内の人材を発掘し、通訳ボランティアを育成します。



●商店街活性化モデル事業

300万円

商店街による宅配サービスや空き店舗活用などの取組を支援し、活気ある商店街の再生を目指します。

3 交通インフラの整備

●離島航空路確保対策補助金

3205万円

佐渡―新潟間航空路線は7月の運航

再開が予定されています。安定した運航体制を確保するため、県とともに航空会社への支援を行います。

●佐渡航路活性化協議会負担金

543万円

国、県、対岸市、航路事業者その他関係団体等と連携しながら、利用しやすい航路にすると共に、満足度の高いサービス実現を目指します。

●離島航路船舶建造事業補助金

9000万円

佐渡汽船のカーフェリー代替船舶の建造に対する補助を行い、建造後の運賃低廉化を図ります。



●地域公共交通活性化協議会負担金

5646万円

高齢者の運賃割引サービスなどの各種社会実験を実施し、高齢者や学生などの外出支援や利便性の向上を図ります。



4 安心・安全な地域づくり

●緊急情報伝達システム整備事業

5800万円

既設のケーブルテレビの回線を利用して、屋内に戸別受信機を設置し、災害などの緊急時における情報を市民へ一斉配信できる通信システムを整備するとともに、地域情報も発信できるように取り組みます。

●佐渡総合病院移転新築事業補助金

13億円

安全・安心な医療を提供するため、

本年10月に開院する佐渡総合病院の移転新築事業に対し支援します。



新病院完成予想図

●看護師等就業定着支援補助金

144万円

看護師の確保対策として、U・Iターンを希望する看護師に住居費の一部を補助し、生活の支援を行います。

●介護基盤整備事業補助金

8億425万円

特養などへの入所待機者の解消と、介護者の負担軽減を図るため、計画的に介護施設の整備を進めます。また、民間による施設整備への参入を促進するため、建設費の補助を行います。

●障害者就業・生活支援センター設置促進事業

1310万円

障がい者への就業支援と生活支援を

一体的に行うセンターの開設を支援します。

5 次世代を担う人事育成

●すこやかな妊娠・出産事業

4487万円

安全・安心な妊娠・出産ができる環境を整備するため、妊婦健康診査・妊婦歯科健康診査の費用を市が負担します。

また、助産師による母子訪問指導に取り組みます。



●特定不妊治療費助成事業

150万円

妊娠を望む夫婦への支援策として、特定不妊治療に要する費用の一部を助成し、治療に伴う経済的負担の軽減を図ります。

●子どもの健康を守る任意予防接種助成事業

4818万円

子どもの疾病予防や重症化防止を図り、子どもの健康を守るため、予防効果が高いといわれる子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用全額を助成します。

●総合学習支援事業

1300万円

小・中学校において、郷土を愛し、夢と誇りを持つ教育を推進するため、地域の指導者により、佐渡の自然、歴史、伝統文化を学ぶ「佐渡学」を充実します。また、職場体験など地域産業の学習を推進し、将来を担う人材を育成します。



総合学習の成果発表会（新穂中学校）

# 平成23年度 当初予算の概要をお知らせします

## 一般会計 464億円

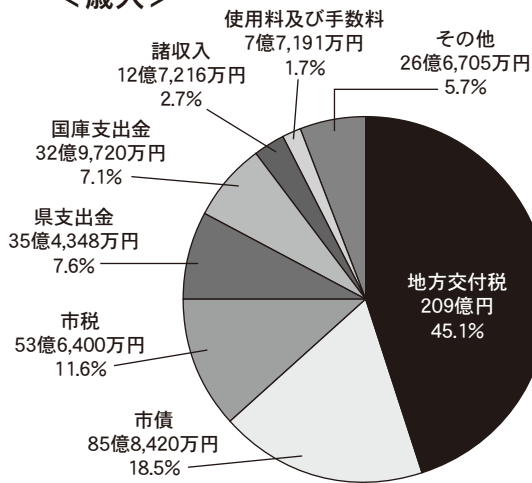
### 予算のポイント

- ① 島内経済の「下支え」としての普通建設事業の増額確保による積極的予算措置を行いました。
- ② 重点政策事業 6.4 億円による成長戦略の実効性の確保に努めました。
- ③ 基金残高の確保による継続した財政安定化の堅持に努めました。

平成23年度の当初予算は、一般会計で464億円（前年度比43億7千万円の増）、特別会計を合わせた総額で671億8464万円（前年度比37億1022万円の増）となりました。平成23年度当初予算は、行財政改革や戦略的な成長力投資戦略をまとめた「佐渡市将来ビジョン」に沿って取り組み、佐渡の豊かな自然の恵みを活かした産業おこしと、佐渡の魅力を活かした賑わいの島づくりを基本とした「成長力強化戦略」を柱に予算編成を行いました。

### ◆一般会計

#### <歳入>



その他には、地方譲与税 (6億円)、地方消費税交付金 (6億円)、分担金及び負担金 (3億8,280万円) などがあります。

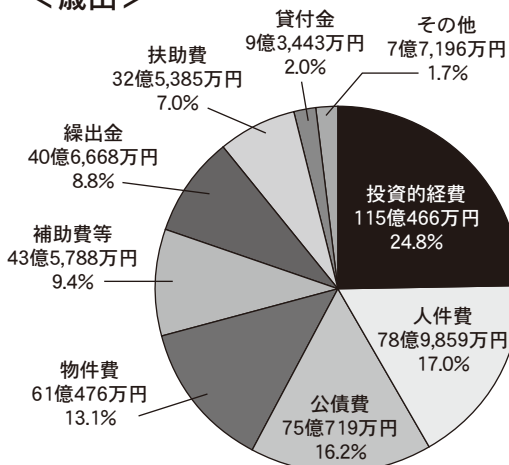
#### 歳入の概要

- ・ 地方交付税の増
- ・ 合併特例債事業の実施による市債の増
- ・ 景気の低迷などによる市税の減
- ・ 介護施設の整備などによる県支出金の増
- ・ 小中学校の統廃合に伴う整備などによる国庫支出金の増
- ・ 市の貯金である財政調整基金の取り崩しは行いません

#### ◎市税の内訳 ※ ( ) 内は前年度との比較

市民税	固定資産税	軽自動車税	市たばこ税	入湯税
20億8,845万円 (▲5,565万円)	26億9,649万円 (▲487万円)	2億175万円 (+194万円)	3億403万円 (▲703万円)	7,329万円 (▲643万円)

#### <歳出>



その他には、積立金 (2億7,364万円)、投資及び出資金 (2億3,359万円)、維持補修費 (2億2,473万円) などがあります。

#### 歳出の概要

- ・ 陸上競技場整備事業、両津港埠頭地区開発事業などの合併特例債事業の増による投資的経費の増
- ・ 職員の適正配置などによる人件費の減
- ・ 償還期間の終了などによる公債費の減
- ・ 中山間地域等直接支払制度の拡充に伴う補助費等の増

## ◆特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する会計で、平成23年度は3会計減少し、12会計となります。

(単位：万円)

区 分	23年度予算	22年度予算	増減額
国民健康保険	716,300	701,380	14,920
老人保健		66	皆減
後期高齢者医療	71,280	71,990	△ 710
介護保険	707,520	682,450	25,070
簡易水道	141,730	178,660	△ 36,930
下水道	305,020	369,780	△ 64,760
土地取得		195	皆減
ケーブルテレビ	26,210	30,920	△ 4,710
歌代の里	49,390	48,660	730
すこやか両津	58,330	58,740	△ 410
五十里財産区	50	50	0
二宮財産区	875	720	155
新畑野財産区	1,088	623	465
真野財産区	672	208	464
空港用地取得補償		0.1	皆減

## ◆公営企業会計

公営企業会計は、民間企業と同じような経営をしている事業で、水道事業会計、病院事業会計があります。

(単位：万円)

区 分		23年度予算	22年度予算	増減額	
水道事業	収益的	収入	135,520	109,574	25,946
		支出	125,910	109,175	16,735
	資本的	収入	123,921	112,564	11,357
		支出	185,275	153,844	31,431
病院事業	収益的	収入	252,012	240,445	11,567
		支出	249,497	249,717	△ 220
	資本的	収入	10,811	24,081	△ 13,270
		支出	16,947	34,859	△ 17,912

## ◆基金の状況

基金は、市の貯金にあたります。

区 分	22年度末現在高見込	23年度末現在高見込
財政調整基金	60億8,700万円	62億4,934万円
減債基金	10億7,066万円	10億7,247万円
その他特目基金	95億3,081万円	93億7,441万円

## ◆市債の状況

市債は、市が大きな事業を実施する時に借り入れるお金で、市の借金にあたります。元利償還金の約60%は地方交付税で措置されます。

区 分		22年度末現在高見込	23年度末現在高見込
一般会計		549億8,073万円	570億4,381万円
特別会計	簡易水道	63億7,066万円	47億2,830万円
	下水道	252億3,743万円	247億2,117万円
	ケーブルテレビ	3億6,385万円	2億8,812万円
	すこやか両津	7億8,895万円	7億3,698万円
公営企業会計	水道事業	90億7,069万円	110億7,002万円
	病院事業	4億2,507万円	3億1,600万円
計		972億3,738万円	989億440万円



## ～ 合併特例債事業への取組み ～

合併特例債は、合併市町村に対して合併後のまちづくりを推進するために設けられた優遇措置の一つで、これまでケーブルテレビの整備や小学校、学校給食センター、消防本部庁舎の建設などに活用してきました。

平成23年度は、合併後10年間（平成25年度まで）において認められるこの合併特例債を活用して、次のような事業を実施します。

### 平成23年度合併特例債事業…………… 63億2,413万円

○小中学校建設、小中連携校整備事業 32億3,625万円

- ・金井小学校移転改築事業
- ・畑野地区統合小学校改築事業
- ・南部地区統合中学校校舎移転改築事業

ほか6事業

○佐渡総合病院移転新築事業 13億円

○陸上競技場整備、周辺整備事業 8億7,458万円

○両津港埠頭地区開発事業 2億7,400万円

○総合体育館建設事業 2億3,321万円

○し尿処理施設整備事業 1億8,761万円

○離島航路船舶建造事業 9,000万円

など



佐渡総合病院移転新築工事

平成23年度

# 佐渡市の新たな体制

**お問い合わせ**

<b>市役所本庁</b>	63-3111 (代表)
総務課	63-3111
総合政策課	63-3802
行政改革課	63-3111
島づくり推進課	63-3791
世界遺産推進課	63-5136
文化財室	63-3195
財務課	63-3114
契約検査室	63-5137
地域振興課	63-4152
情報センター室	51-2030
交通政策課	63-3184
市民生活課	63-5112
健康推進室	63-3115
税務課	63-5110
債権収納対策室	63-4679
環境対策課	63-3113
社会福祉課	63-5113
児童家庭支援センター	
総合政策課	63-5222
高齢福祉課	63-3790
農林水産課	63-3761
観光商工課	63-5116
建設課	63-5118
上下水道課	55-3115
会計課	63-5111
監査委員事務局	63-3112
選挙管理委員会事務局	63-3111
農業委員会事務局	63-5115
<b>議会事務局</b>	57-8133
<b>教育委員会</b>	
学校教育課	23-4898
社会教育課	27-4170
佐渡学センター/ジオパーク推進室 (両津郷土博物館内)	23-2100
北教育事務所(相川)	74-2332
西教育事務所(佐和田)	57-8131
金井地区	63-4151
東教育事務所(畑野)	66-3889
新穂地区	22-2075
真野地区	55-2179
南教育事務所(羽茂)	88-2230
小木地区	86-3191
赤泊地区	87-3141
<b>支所・行政サービスセンター</b>	
両津支所	27-2111
岩首連絡所	28-2002
海府連絡所	26-2228
相川支所	74-3111
高千連絡所	78-2629
佐和田行政サービスセンター	57-2111
新穂行政サービスセンター	22-3111
畑野行政サービスセンター	66-3111
松ヶ崎連絡所	67-2001
真野行政サービスセンター	55-3111
羽茂支所	88-3111
小木行政サービスセンター	86-3111
赤泊行政サービスセンター	87-3111
<b>病院</b>	
両津病院	23-5111
相川病院	74-3121
<b>消防署</b>	
消防本部(中央消防署)	51-0119
両津消防署	27-3555
海府分遣所	26-2511
相川消防署	74-3124
高千出張所	78-2045
南佐渡消防署	88-3119
前浜分遣所	81-2550

市長	高野 宏一郎	環境対策課長	児玉 龍司	新穂行政サービスセンター長	
副市長	甲斐 元也	社会福祉課長	山田 秀夫	畑野行政サービスセンター長	近藤 健一郎
総合政策監	藤井 裕士	両津病院管理部長	塚本 寿一	赤泊行政サービスセンター長	計良 通明
議会事務局長	(国土交通省から)	相川病院管理部長	山本真佐夫	真野行政サービスセンター長	松本 均
会計管理者(会計課長兼務)	名畑 匡章	農林水産課長	渡辺 竜五	小木行政サービスセンター長	有田 満春
総務課長	本間 佳子	観光商工課長	伊藤 俊之	羽茂支所長	羽生 靖
総務課総務主幹	山田富巳夫	建設課長	石塚 道夫	赤泊行政サービスセンター長	藤井 正一
(選挙管理委員会事務局長兼務)		上下水道課長	和倉 永久		
総務課危機管理主幹	木下 勉	監査委員事務局長	児玉 功		
総合政策課長	本間 聡	農業委員会事務局長	島川 昭		
行政改革課長	小林 泰英	教育長	白杵 國男	消防長	金子 浩三
島づくり推進課長	清水 忠雄	学校教育課長	山本 充彦	消防本部次長	深野 俊之
世界遺産推進課長	藤井 光	学校教育課管理主事	羽二生 裕		
	羽下 三司	社会教育課長	渡邊 智樹		
	(新潟県から)				
財務課長	伊貝 秀一				
財務課契約管理主幹	鈴木 一郎	両津支所長	増野 敏弘		
地域振興課長	計良 孝晴	相川支所長	宇佐美 務		
交通政策課長	渡邊 裕次	佐和田行政サービスセンター長	清水 辰宏		
市民生活課長	川上 達也				
税務課長	田川 和信				





■新採用

市民生活課健康推進室保健係  
保健師 小島 仁美

市民生活課健康推進室保健係  
保健師 渡部美貴子

建設課建築係  
技師 大塚 亮佑

両津病院看護部看護科  
看護師 本間阿佑美

相川病院管理部管理課給食係  
栄養士 矢川芙未子

社会教育課ジオパーク推進室推進係  
主事 市橋 弥生

両津支所市民課庶務係  
主事 川上 一貴

両津支所市民課福祉保健係  
保健師 渡部 祐里

消防本部警防課施設・装備係  
岩崎 竜



■退職者

総合政策監 齋藤 元彦 (総務省へ)

議会議務局長 池 昌映

事務局長 藤井 雄一

総務課 総務主幹 橘 政男

行政係自動車運転手 中川 和明

行政改革課 課長 金子 優

島づくり推進課 課長 北村 亮 (新潟県へ)

世界遺産推進課 課長 高橋 正行

財務課 調査係長 佐々木正雄

交通政策課 課長 佐藤 弘之

市民生活課 課長 羽生 行雄

環境対策課 佐渡クリーンセンター施設長 入舟 良夫

国仲清掃センター施設長 白杵 康雄

国仲清掃センター技能士 課長 新井 一仁 (新潟県へ)

社会福祉課 両尾保育園副園長 石川 正代

梅津保育園常勤の非常勤職員 浦川保育園副園長 田畑奈穂美

稲鯨保育園保育士 梨田 二美

川西保育園長 川辺 妙子

小倉保育園長 岩瀧 淳子

多田保育園長 坂井 恭子

真野第1保育園長 高野美津枝

真野第1保育園調理員 吉川 栄子

羽茂保育園長 藤井由美子

高齡福祉課 ときわ荘保健係主任看護師 山川 まさ

歌代の里介護係介護員 金子 麻美

すこやか両津 看護科看護師長 恩田三恵子

看護科看護師 看護科看護師 渡邊あゆみ

両津病院 看護部看護科准看護師 山田スズエ

相川病院 管理部管理課長補佐 平腰 洋子

農林水産課 課長 金子 晴夫

建設課 課長 渡邊 正人

改革専門員 小松 隆晴

建築住宅係長 藪田 亨

上下水道課 維持管理係技能士 永井 和則

水道工務係長 大地 政廣

教育委員会 学校教育課 川上 治男 (新潟県へ)

指導主事 両津学校給食センター所長 本間 寿子

あいかわ幼稚園長 本間真知代

相川小学校主任栄養士 卜部 艶子

松ヶ崎小学校常勤の非常勤職員 猪股美千代

羽茂中学校庁務員 仲川 光子

社会教育課 課長補佐 齋藤 義昭

北教育事務所事務局長 足立 俊裕

相川支所 支所長 服部 昌良

市民課高千連絡所長 相馬 茂樹

佐和田行政サービスセンター 次長 野崎 政明

市民生活係事務補佐員 須田 信一

真野行政サービスセンター 市民生活係主任 本間 源伸

小木行政サービスセンター 市民生活係調査員 田中 純子

羽茂支所 支所長 本間 芳昭

市民課長 長原よう子

市民課福祉保健係長 猪股久美子

産業振興課長補佐 石塚 雅実

消防 両津消防署 副参事 田中 照夫

海府分遣所長 大倉 弘

相川消防署 高千出張所長 北條 和博